

下関市政記者クラブ 各位

平成30年7月26日  
国土交通省九州地方整備局  
下関港湾事務所  
下 関 市

「クルーズ旅客に対する水上交通を活用した下関港の魅力向上検討会」  
第1回 開催のお知らせ

下関港は、本年3月に長州出島の岸壁延伸が完成し、世界最大級のクルーズ客船の係留が可能となったこと等により、大型クルーズ客船の寄港が増加し、大勢の旅行客が関門地域を観光しています。クルーズ旅客の港から観光地への移動手段は、現在バスやタクシー等の陸上交通が主となっておりますが、下関港長州出島から関門地区等への水上交通の可能性を検討することにより、クルーズ旅客の円滑な移動等に係る満足度向上及び下関港ひいては関門地区の更なる魅力の向上が期待できます。

このため、今般、観光・商工関係者や交通関係者、行政関係者による「クルーズ旅客に対する水上交通を活用した下関港の魅力向上検討会」を設置し、第1回検討会を下記のとおり開催することとしましたのでお知らせいたします。

記

- |         |  |
|---------|--|
| 1. 日 時  | 平成30年8月2日(木) 10:00(受付9:30)～  |
| 2. 会 場  | 国土交通省九州地方整備局 下関港湾事務所(別添会場案内図参照)<br>下関市東大和町2-29-1   |
| 3. 主 催  | 国土交通省九州地方整備局下関港湾事務所<br>下関市   |
| 4. 取材申込 | 本検討会は公開です。<br>取材を希望される方は、7月31日(火)の12:00までに別紙「取材申込書」によりFAXにてお申し込み下さい。<br>取材の際は、社名が記された腕章を着用し、担当の指示に従ってください。 |

【問 い 合 わ せ 先】

- 国土交通省九州地方整備局 下関港湾事務所  
(取材に関するお問い合わせ)  
TEL:(083)266-3291 FAX:(083)261-1123  
総務課長 今村(いまむら)、総務係長 浴田(えきだ)
- (検討会に関するお問い合わせ)  
TEL:(083)266-3292 FAX:(083)261-6445  
沿岸防災対策官 平原(ひらはら)、港湾施設監査官 大石(おおいし)
- 下関市港湾局  
振興課 課長補佐 玉里(たまり) TEL:(083)231-1277

「クルーズ旅客に対する水上交通を活用した  
下関港の魅力向上検討会」  
「取材申込書」

FAX 083-261-1123

国土交通省九州地方整備局 下関港湾事務所

総務課 宛

※申し込み期限：平成30年7月31日(火)12:00までにお送り下さい。  
※取材の際には、社名が記された腕章を着用し、担当の指示に従って下さい。  
※駐車場の関係で、車両は各社1台までとします。

下記のとおり「検討会」の取材を申し込みます。

会社名		
取材者氏名 (全員分)	氏名	来場車両ナンバー
	氏名	
	氏名	
	氏名	
	氏名	
連絡先	TEL	
	TEL(携帯)	
	FAX	
	メールアドレス	

# 会場案内図



○クルーズ旅客の港から観光地への移動手段の一つとして、下関港長州出島から関門地区(下関漁港、唐戸、門司、小倉)等への水上交通の可能性を検討することにより、クルーズ旅客の満足度向上と下関港ひいては関門地区の更なる魅力向上を図ることを目的とする。

## 1) 構成員

観光・商工関係者(下関商工会議所、下関観光コンベンション協会、下関21世紀協会、北九州観光コンベンション協会)、交通関係者(関門地区旅客船協会、山口県バス協会、下関タクシー協会、JR西日本)、港湾関係者(下関港湾協会)、行政機関(山口県、下関市、北九州市、九州運輸局、九州地方整備局)

## 2) 主な検討内容

- 長州出島から関門地区等への水上交通として想定されるルート
- クルーズ旅客を対象とする水上交通が実現するための条件整理と対応方策等

## 3) 検討の進め方(案)

- 第1回検討会(8月2日)
  - ・検討会の設置
  - ・長州出島から関門地区への水上ルート
- 第2回検討会(9月頃)
  - ・有識者による講演
- プレ調査(10~11月頃)
  - ・下関港から観光地等への海上二次輸送のプレ調査
- 第3回検討会(2月頃)
  - ・プレ調査結果の検証
  - ・次年度以降の進め方

